

調達管理番号・案件名

24a00216_全世界2024年度案件別外部事後評価パッケージⅢ-3(ラオス、東ティモール、カンボジア)(一般競争入札(総合評価落札方式 - ランプサム型))

質問と回答は以下のとおりです。

2024年8月22日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	17	3) 東ティモール案件の踏査対象村落	踏査対象村落の候補(フェーズII)として、Fahisoi村が挙げられていますが、Liquidoe準県、Remexio準県のいずれのFahisoi村でしょうか。	以下のとおり訂正します。 17ページ 下から2行 【訂正前】 フェーズII:Dili 県および Aileu 県の 7 村落(Dare, Cotolau, Fahisoi, Fatisi, Faturilau, Manucasa, Maumeta) 【訂正後】 フェーズII:Dili県および Aileu県の9村落(Dare, Cotolau, Fahisoi(Liquidoe準県), Fahisoi(Remexio準県), Fatisi,Bocolelo(2017年4月にFatisi村がFatisi村とBocolelo村に分割された),Faturilau, Manucasa, Maumeta)
2	20	第2章 特記仕様書 第4条 調査の内容 (1)調査対象実施機関に対する現地説明用資料の作成	現地説明用資料、質問票、報告書は英語の他、ラオス案件はラオス語、カンボジア案件はクメール語、東ティモール案件はテトウン語でも作成することになっています。一方、「全世界2024年度案件別外部事後評価パッケージⅡ-3(ベトナム、ラオス、東ティモール)(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))」では、ラオス語とテトウン語の作成は求められていません。この違いはなぜでしょうか。	特殊言語の翻訳については、各評価案件毎に、現地JICA事務所を確認して判断しています。 本外部事後評価パッケージ(III-3)の対象評価案件については、地方サイトへの踏査が含まれるため、特殊言語での現地説明用資料、質問票、報告書の作成を含めています。
3	21	第4条 調査の内容 (5)定性調査 (対象案件) 東ティモール「持続可能な天然資源管理能力向上プロジェクト」「持続可能な天然資源管理能力向上プロジェクトフェーズII」(一体評価)※LNOBに係る定性調査	調査範囲が「1 村落あたり最低3 世帯、合計39 世帯以上を選定」となっていますが、調査内容でローカルリソースの利用は「配置は4日程度」とあります。現地調査補助員の日本人評価者の同行と単独調査を合わせて4日程度の範囲で世帯を選定する必要があるという理解でよいでしょうか。	ご理解のとおり、第2次調査におけるLNOBに係る調査は、ローカルリソースの配置4日程度を想定しています。 調査範囲については、以下の通り訂正します。 【訂正前】 1 村落あたり最低3 世帯、合計39 世帯以上を選定 【訂正後】 1 村落あたり最低2~3 世帯、合計20 世帯以上を選定

4	28	<p>公開資料について</p> <p>(対象案件) ラオス 森林減少抑制のための参加型土地・森林管理プロジェクト ラオス 国森林減少抑制のための参加型土地・森林管理プロジェクトに係るREDD+認証・登録支援業務</p>	<p>「ラオス 森林減少抑制のための参加型土地・森林管理プロジェクト」の業務完了報告書のリンク先に格納されているのは「ラオス国森林減少抑制のための参加型土地・森林管理プロジェクトに係るREDD+認証・登録支援業務」の業務完了報告書であり、PAREDDの業務完了報告書ではないようです。</p> <p>「ラオス国森林減少抑制のための参加型土地・森林管理プロジェクトに係るREDD+認証・登録支援業務」は、PAREDDの対象サイトの一つにおいてREDDプラス事業としての認証・登録を目的として実施されたものと理解しております。</p> <p>PAREDDの業務完了報告書は公開されていないと理解しております。可能でしたら配布をお願いします。</p>	<p>現時点での追加配布資料はありません。契約締結後に、受注者に配布します。</p>
5	30	<p>ラオスにおける移動手段</p>	<p>入札説明書 p.30 (6)安全管理【ラオス】3)移動手段 ③車両による移動を基本とあり、やむを得ず公共交通を資料する場合はスリ、ひったくりに十分留意とありますが、ルアンプラバン県⇄ウドムサイ県の移動にラオス中国鉄道を利用することは可能でしょうか。</p>	<p>鉄道の利用は可能です。</p>
6	35	<p>3. 経費積算に係る留意事項 (3)定額計上について</p>	<p>本業務では4案件の3言語(英語以外)に翻訳指示があるが、定額計上となっていない。先のPKII-3(ベトナム、ラオス、東ティモール)は、同じ一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型)であり、対象国も同一のものがあるが、翻訳指示の言語については定額計上となっていたが、これはどのような違いからか？</p>	<p>本案件については、翻訳の規模感・作業量がある程度想定できることから本見積りに含めることとします。</p>